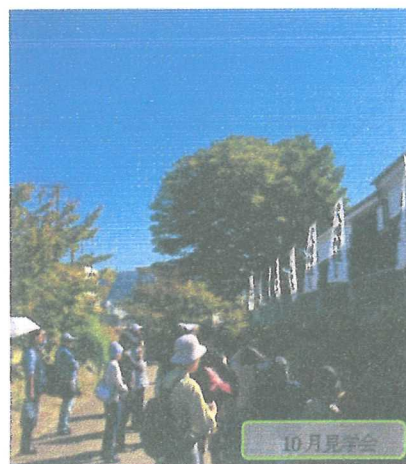
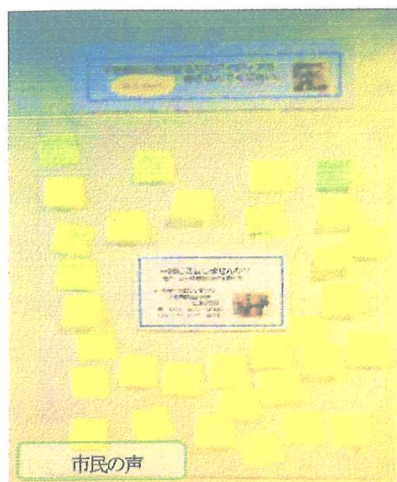


平成 28 年度 平野屋新田会所 市民サポーター会議 活動報告書



平成 29 年 3 月 31 日
平野屋新田会所市民サポーター会議

はじめに

私たちは、平成 26 年 3 月に教育委員会が開設した「平野屋新田会所市民サポーター養成講座」を受講し、サポーターになりました。翌年には講座受講者を中心に市民協働の組織として「平野屋新田会所市民サポーター会議」が発足し、調査や見学会、展示等の活動を行いました。

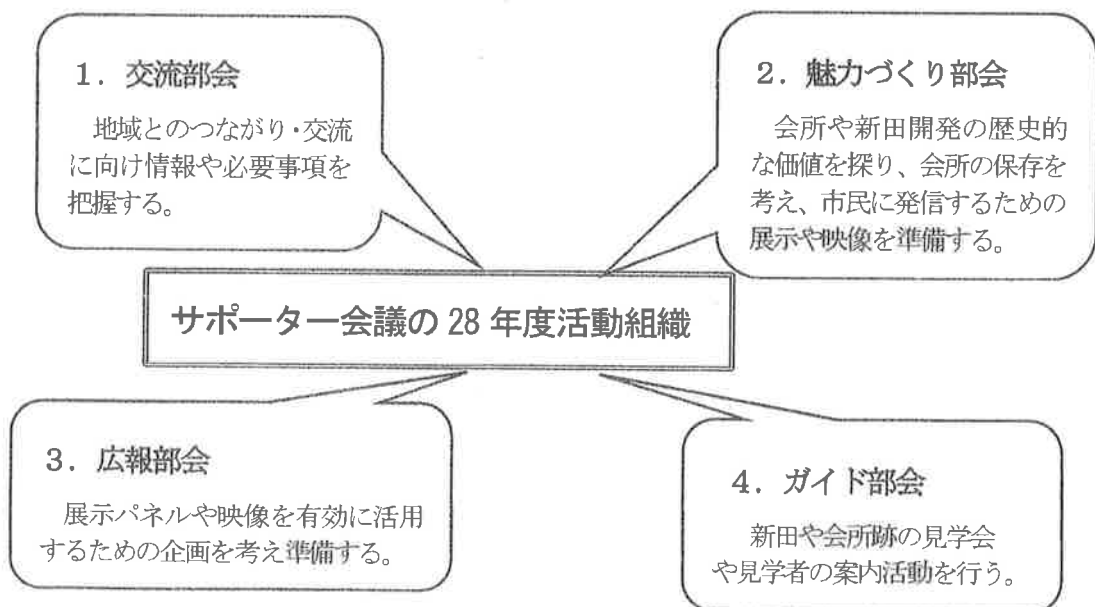
今年度からは自主性を持つ組織へ発展させようと下記のような部会を立ち上げ、新田会所跡の環境保全や説明板の設置、パネル展示会、新田会所跡への見学会等、市民への広報活動を強化するための体制を整えました。また、歴史民俗資料館で開催された市制 60 周年記念特別展や府下に残る新田会所の交流活動にも参加し、大東市の新田開発の歴史と新田会所の存在を広く大阪府下に知らせ広める取り組みも進めました。

これらの活動を通して、大東市には他市では見られなくなった、新田開発の歴史と新田会所遺跡、そして江戸時代からの水利体系(井路網と樋門、水管理の歴史など)の貴重な歴史・文化遺産が今も姿をとどめていることが分かってきました。私たちは、これらの貴重な「遺産」をこれからの大東市の発展に役立てる「財産」・未来の市民としての子ども達の「財産」になるように活動を続けていきたいと考えています。

その活動の様子とこれからの思いを報告書にまとめました。ご一読頂けたら幸いです。

平成 29 年 3 月吉日

平野屋新田会所市民サポーター 一同



も く じ

はじめに

I 平成 28 年度活動報告

《1》 活動日誌	1
《2》 平成 28 年度活動の詳細	
① 展示・広報活動	4
・ いいもりぷらざ にて展示	
・ 来ぶらり南郷 にて展示	
・ だいとうクリーンウォーク&環境フェア 2016 に出展	
・ 大東博覧会 に出展	
② 見学会・ガイド活動	6
・ 「だんじりと深野南新田を巡る」	
・ 「古の街道から平野屋新田会所跡へ」	
③ 聞き取り調査活動	8
④ 平野屋新田会所跡の整備保全活動	11
・ 草刈り作業	
・ 説明板の設置	
《3》 平野屋新田会所特別展 への参画	12
① パネル・新田地図作製・展示	
② 特別展案内ビデオ「よみがえる平野屋新田会所」制作協力	
《4》 四会所交流事業	14
① 四会所交流会議に参加	
② 四会所スタンプラリー	
③ 他会所見学者案内活動	
④ 三会所からの励ましのメッセージ	
《5》 市民・参加者の声	16

II サポーター本音トーク 活動を振り返り 4 年目に向かって

III 資料

《1》 見学コース地図	
① 街道に沿って新田遺跡に向う	② 江戸時代の石造樋門を見る
③ 新田開発と水の管理を考える	④ 古の街道から平野屋新田会所跡へ
《2》 江戸時代の平野屋新田水利体系	
《3》 大和川付け替え以前からの水害表	

おわりに

平成 28 年度 平野屋新田会所市民サポーター 名簿

I. 平成28年度活動報告

《1》活動日誌

太字は、4ページ以降に詳細を記載しているものです。

平成28. 4. 15(金) 四会所交流会議。(会場：加賀屋新田会所)

大阪府下の新田会所交流会議に初めて参加。

5. 14(土) 第1回サポーター会議。

事務局より会所跡保全整備の現状を報告。

27年度の活動の振り返りと28年度の活動体制・方針について検討。

6. 3(金) 会所跡第一回草刈り作業。

6. 11(土) 第2回サポーター会議。

28年度活動計画と部会構成を決定。

6. 17(金) 「大東シニア健康大学」受講者OB会グループが会所跡の見学に来られ、大変喜んで頂いた。

6. 21(火) 四会所交流会議。(会場：安中新田会所跡 旧植田家住宅)

既存の三会所スタンプラリーに新たに平野屋新田会所を加えることが決定。

6. 26(日) 「だいとうクリーンウォーク&環境フェア」。(会場：大東公園)

小型テント2基に看板「300年前 環境大
大激変 そして花と緑の大地へ」を掲げて、
新田開発と会所遺跡のパネルを展示。



7. 9(土) 第3回サポーター会議。

歴史民俗資料館で秋に開催される特別展で、

パネル展示を行い、映像制作や見学会に協力することを決定。

9月、10月の東部・西部地区でのパネル展、10月の見学会開催を決定。

会議終了後、聞き取り調査を実施。(平野屋1丁目周辺)

7. 11(月) 9月に開催する見学会のコースを下見。

7. 12(火) いいもりぶらざと来ぶらり南郷を下見し、パネル展示会の開催を正式に依頼。

8. 13(土) 第4回サポーター会議。

9月のパネル展開催計画を確認。

8. 15 (月) 聞き取り調査を実施。(南新田 1 丁目)

8. 21 (日) 聞き取り調査を実施。(平野屋 1 丁目)

8. 18(木) 会所跡第二回草刈り作業。

8. 25(木) 四会所交流会議。(会場：鴻池新田会所)

9. 10(土) 第5回サポーター会議。(会場：いいもりぶらざ)

10月の展示会と見学会の開催計画を確認、「平野屋新田会所特別展」の図録原稿を検討。11月の「だいとう博覧会」に参加することを決定。

いいもりぶらざでの展示会開催。(9.10～9.26)

9. 14(水) 10月に開催する見学会のコースを下見。

9. 27(火) いいもりぶらざでの展示撤収作業。

10. 7(金) 来ぶらり南郷での展示準備作業。

10. 8(土) 第6回サポーター会議。(会場：来ぶらり南郷)

平野屋新田会所特別展に向けた準備について確認。

来ぶらり南郷での展示会開催(10.8～10.25)

10. 11(火) 会所跡第三回草刈り作業と説明板設置作業。

10. 16(土) 見学会。

住道駅前から南新田方面をガイド。途中、坐摩神社に宮入りするだんじりを見学し、新田会所跡へ案内。大阪産業大学の学生多数参加。



9.14 見学会の下見・調査

10. 25(火) 来ぶらり南郷での展示撤収作業。

10. 28(金) 特別展事業見学会のコースを下見。

10. 29(土) 第7回サポーター会議。

平野屋新田会所特別展に向けた準備状況を確認。

11. 2(水) 歴史民俗資料館で特別展の展示準備作業を実施。(11月11日まで)

11. 4(金) 四会所交流会議。(会場：加賀屋新田会所)
四会所スタンプラリーの集印地図と平野屋新田会所のスタンプのデザインを確認。



水車(踏み車)群

11. 12(土) 平野屋新田会所特別展開催。(11.12～1.15)

特別展事業・平野屋新田会所跡見学会でガイドを実施。

11.19(土) 「だいとう博覧会」に出展。(会場：文化情報センター)

11.27(土) 特別展事業・安中新田会所跡旧植田家住宅見学会に参加。

11.30(水) 住之江のまち案内ボランティアの皆さんに会所跡周辺を案内。

12.10(土) 第8回サポーター会議。(会場：歴史民俗資料館)

28年度活動報告書の作成、平野屋新田会所跡への誘導案内板について検討。

会議終了後、特別展事業・シンポジウムに参加。

12.11(日) 特別展事業・加賀屋新田会所見学会に参加。

12.13(火) 四会所交流会議。(会場：大東市立歴史民俗資料館)

特別展見学後、三会所のみなさんを平野屋新田会所跡へ案内。

平成29.1.14(土) 第9回サポーター会議。

活動報告書の骨子案と次年度に向けての課題(会計・規約・会費等)を検討。

会議終了後、特別展事業・鴻池新田会所見学会に参加。



特別展ポスター

1.16(月) 特別展撤収作業。

1.17(火) 第1回活動報告書編集会議。

1.25(水) 聞き取り調査を実施。(御供田2丁目)

1.26(月) 第2回活動報告会編集会議。

2.11(土) 第10回サポーター会議。

今年度の反省と来年度の活動に向けて座談会風に感想や意見を出し合う。

4月の活動報告会開催を決定。

2.20(月) 第3回活動報告書編集会議。

2.21(火) 四会所交流会議。(会場：安中新田会所跡旧植田家住宅)

2.24(金) 活動報告会計画会議。

3.7(火) 第4回活動報告書編集会議。

3.11(土) 第11回サポーター会議。

事務局より平野屋新田会所跡整備計画案を報告。

活動報告書の内容を最終確認。

3.15(水) 第12回臨時サポーター会議。

活動報告会の開催計画を検討。



定例会議の様子

《2》平成28年度活動の詳報

① 展示・広報活動

平野屋新田会所について、もっと多くの方に知って頂くために、パネルや映像で紹介しました。

◆ 会場：いいもりぷらざ （大東市北条1丁目1-16-16）

期 間：平成28年9月10日～9月26日 《共催事業》

元小学校を地域のコミュニティセンターとして、春にオープンしたばかりの施設の1階ロビーで共催事業としてパネル展示を行い、正面玄関では平野屋新田会所の紹介映像を上映しました。1階の施設等を利用される人には、目につきますが、エレベータがロビーの手前にあるため、ロビーから2～3階に上がる人には、目に付きにくいという不利な点もありましたが、足を延ばして見てくれる人もいました。



サポーターの説明に耳を傾ける来館者

平野屋新田会所について知る人は少なく、「そういえば、あそこ今、どうなってんねん」と、問い返されこともありました。反面、熱心に見て頂ける人もあり、私たちの活動を紹介すると「頑張ってください」とのお声がけを頂きました。

◆ 会場：来ぶらり南郷（大東市氷野4-4-70）

期 間：平成28年10月8日～10月24日 《開館10周年記念共催事業》

3月は住道駅前の生涯学習センターアクロスで、9月には東部地区（いいもりぷらざ）で開催したので、今回は西部地区の来ぶらり南郷でパネル展を開催しました。同施設は図書館も併設され利用者が多く、ロビー壁面に展示したパネルを多くの人に見て頂くことができました。



紙芝居の上演

さらに、平野屋新田会所を題材にした紙芝居も上演し、子ども達にも喜んでもらうことができました。

また、映像による平野屋新田会所の紹介も行い、非常にわかり易いと、好評を得ることができました。



◆ だいとうクリーンウォーク&環境フェア2016に出展

会 場：大東中央公園（大東市谷川2-9）

期 日：平成28年6月26日

大和川の付け替えと新田開発が大東市域の環境変化をもたらし、純白の綿の花と水田の緑、稲穂の黄金の輝きをつくりだした歴史を市民と共に再認識するために参加しました。「300年前 環境大激変 そして花と緑の大地がうまれた」をテーマに、平野屋新田会所を紹介するパネル展示と水車(踏み車)の模型の体験コーナーを設け、「平野屋新田会所市民サポーター会議」の活動を知ってもらうことができました。市民の声を書きこむコーナーにも見学者の声が多数寄せられました。



模型の踏み車体験コーナー

◆ だいとう博覧会に出展

会 場：JR住道駅前、デッキ（天候が悪く文化情報センターに変更）

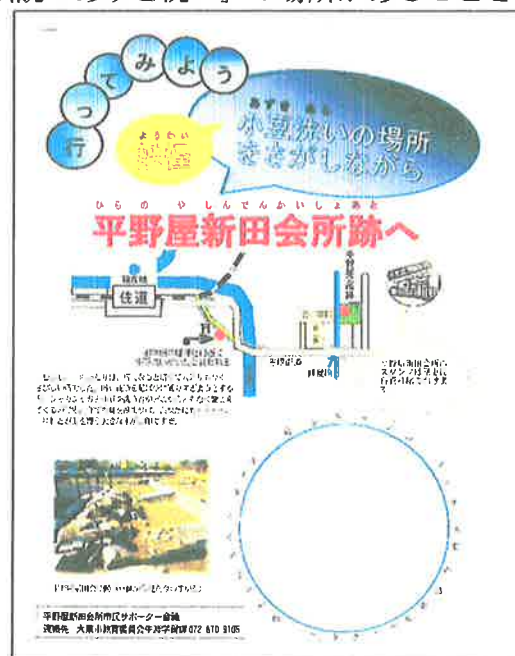
期 日：平成28年11月19日

大東市市制60周年と大東市立生涯学習センターアクロス10周年を記念して開催された「だいとう博覧会」にブースを出しました。「妖怪小豆洗いをさがしながら平野屋新田会所跡へ」と銘打って、私たちの活動と平野屋新田会所跡を知ってもらうことを願いつつ、新田会所跡の近くにも大東の妖怪伝説「あずき洗い」の場所があることを紹介しました。

当日は、天候がおもわしくなく、屋内に変更され、来場者は少なくなりましたが、平野屋新田会所跡の紹介チラシをお土産に持って帰ってもらいました。



サポーター活動と会所跡紹介ブース



② 見学会・ガイド活動

水路や樋門、だんじり祭りを見ながら。会所跡と
深野南新田を案内しました。

◆ 見学会 「だんじりと深野南新田を巡る」

- ・開催日：平成28年 10月16日 午前9時30分～12時
住道駅集合、平野屋新田会所跡解散
- ・参加者：24名
- ・コース：住道駅～古堤街道～旧吉田川跡～三反物樋～待樋～せせらぎの水路～
南新田公民館前樋門～落合橋下伏せ越樋～ママコ田跡～坐摩神社・会所跡



新田開発で二つの川が作られた様子を説明



鎮守・坐摩神社に宮入りした3台のだんじり

大東市の礎を語る上において新田開発の歴史を知る事は大切なことです。

かつてこの地の大半は深野池であり、旧大和川の幾つもの支流が深野池に流れ込んでいました。江戸時代には、土砂の堆積により深野池や大和川の水位が上昇し、周辺の村々は洪水の被害を受けましたが、18世紀に大和川が付け替えられ、川床や深野池が新田として開発されました。

この見学会では、開発された深野新田のうち、深野南新田と河内屋南新田の水環境に関わる三反物樋（さんだんもんひ）・待樋（まちび）・南新田公民館前樋門・落合橋下伏せ越樋や水路(井路)を巡り、新田住民の苦闘の足跡をたどりしました。

19世紀に会所の屋敷神から地域の鎮守となった坐摩神社では、平野屋・谷川・南新田・元町地区から3台のだんじりが宮入している祭礼の様子を案内しました。

(案内コースは23ページにあります。)



見学会案内チラシ

◆ 特別展見学会 「古の街道から平野屋新田会所跡へ」

- ・開催日：平成28年11月12日 午後1時～4時
歴史民俗資料館集合 平野屋新田会所跡解散
- ・参加者：22名
- ・コース：歴史民俗資料館～寺川瓦堂～古堤街道と東高野街道の交差点～
古堤街道～中垣内遺跡～坐摩神社～会所跡



会所跡へ向かう前に展示の説明を受ける



旧鍋田川河川敷を過ぎれば深野池跡となる



瓦堂跡近くから堂山古墳群を望む



会所跡で礎石群と遺跡を見る参加者

かつて「山の根道」と呼ばれ、古代より交通の要として開け、京の都と紀州高野山を結ぶ道である東高野街道を歩きながら、古刹と伝わる蓮光寺跡の瓦堂から5世紀初頭に造られた堂山一号古墳を見上げ案内をしました。メノコ橋では「メノコ」の語源と「メノコ遺跡」を説明しました。中垣内の東高野街道と古堤街道との交叉部を西へ折れ、2万3千年前のナイフ形石器が出土した中垣内遺跡を見ながら旧鍋田川跡を経て、ゴールの平野屋新田会所跡地へ向かいました。古代から近世へ移り変わる大東市の歴史を堪能して頂きました。

(案内コースは23ページにあります。)

③ 聞き取り調査活動

会所とその周辺の記憶をたずねる

平野屋新田会所とその周辺について、「①、地域の交流と地域を学ぶ」「②、新田開発後18世紀の絵図の解明」を大きな目標にして、会所とその周辺の記憶を少しでも留めて置くために聞き取りをして歩きました。地域の皆様方は「記憶が確かかどうかは自信がないが、個人の話としてなら」と快く対応して頂きましたことに感謝の気持ちです。

会話の中での「昔・むかし」は、さまざまな年代が入り込みますが、点と点を繋ぎ新たな歴史発掘の糸口にしていきたく思います。聞き取りの過程では、新田と本田の一部を巡り命綱であった「水」と「土地」を守り、水と共に生きた人々の足跡が甦りました。

以下は現在までのもので、地元の延べ7～8名の方にお聞きした内容です。今は僅かな会所跡を残すのみとなっていますが、今後も会所周辺の記憶を少しでも多くの記録として残したいと考えています。

I、平野屋新田会所跡近くで開発当初からお住まいのお宅を訪問しお話を伺いました。

◎ご先祖は新田開発に関わった開拓者と聞きますが。

・この辺り、新田への初期入植者が数軒あると言われており、小宅もその一軒とされています。過去帳では、入植初代は享保16年（1731）没とあります。

◎現在の建物はいつ頃のものでしょうか。

・建物は100年位前に建て替えたもので、塀の焼き板に大正時代の和釘が使用されています。

◎新公民館を建設の折、軟弱地盤のため苦勞されたと聞きますが。

・軟弱な地盤のため苦勞があったが、最新工法で基礎の杭打ちは13メートルで済みました。

◎川へ下りる「ひなら」があったようですが。

・家の西北にある橋と小宅の裏口の2か所に、銭屋川に降りる石段があり、橋の下はちょっと大きめの石段で、村の船着き場として使われ、裏口の石段は小宅の洗い場で野菜を洗ったり、洗濯をしたりしていました。また、この辺りの人は「ひなら」という言葉は知りません。



昭和30年代の米蔵と銭屋川

◎銭屋川・銭屋橋は「銭屋」の屋号を持つ高松氏が造られたと聞いたことがあります。

- ・銭屋川は用水路で、田畑への給水を行っていたとすれば、高松より以前から存在していたはずですが。名前がついたのは最近のようで古い人はただ川とだけ言っています。

◎「中垣内浜」とはどの辺りですか。

- ・中垣内7丁目の外環状線のあたりを「浜」と言っていました。

＊地域の古老のお話⇒鍋田川が山から運んだ大量の良質砂と、周辺の井戸から湧き出る良質な水を汲み上げ、商売として生計を立てていた地元の人がいた。平野屋又右衛門の「又」の字が刻印された境界石もいたる所にあった。

Ⅱ、南新田の開発当初からお住まいのお宅にお伺いしお話を聞かせて頂きました。

◎新田開発当初の南新田の寺院関係についてお聞かせいただけますか。

- ・開発された頃この辺りはお寺が無かったので法事等では幾つかの西本願寺のお寺から来てもらっていました。

◎12号水路の大きさやその使い道について教えてください。

- ・水路の幅は現在と変わらず5m程で田舟（幅1.1m×長さ8.2m）が行き来でき、かつての水路は農作物を運ぶ道の役目もあり田圃に水を送る井路でした。

◎「ままこ田」はどこにありましたか。

- ・六間路川沿いの横。洪水の時水を集める役目をしていた。

＊新田側は従来通り山側からの悪水を受け入れる約束があった。その為洪水の時などは、大量の水が溢れるため一時的に「ままこ田」が遊水池になり他の田圃の身代わりになった。（右の地図参照）

◎せせらぎの水路に有る案内板の中に「まち樋」の文字が見えますが場所はどの辺りでしょうか。

- ・12号水路から分岐した井路(水路)が銭屋川へとつながる分岐点にある樋門のことです。

＊「まち樋」は、水門の開閉で井路の水量を調節し新田と本田（御供田村）の用水や悪水落ちの樋として重要な役目を持っていた。



◎せせらぎの水路の水はどこから流れてきていますか。

- ・水路の水は鴻池水みらいセンターから引かれ、維持と管理は地域の人たちが毎日行っています。

◎開発当初の田畑に必要な水や生活用水は南新田の樋から引かれていましたか。

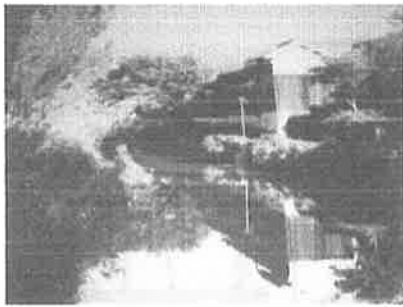
- ・昔、用水は鍋田川から水路（井路）を通じて引き入れていたと聞きます。恩智川は今、汚れてしまいましたが、昭和の初期までは野菜を洗い洗濯などもしたと聞いています。田の悪水を恩智川に流し、用水は恩智川から引いていませんでした。昭和30年代になると東大阪から色水（工場排水）が流れ込んできました。

*元町橋を渡ると東大阪市の元町1丁目～2丁目に入るが、ここはかつて平野屋新田会所が管理・運営する河内屋南新田であった。平野屋新田会所の屋敷神が、地域に開放後「谷川」・「平野屋」・「南新田・元町」の氏神となり現在も受け継がれている。大川は深野南新田と河内屋南新田の境界（現在は大東市と東大阪市の境界）。落合橋（大川に架かる橋）下の伏せ越樋門は善根寺村・日下村から新田側に従来通り悪水が落ちるように設けられ大川の水は直接恩智川に流された。開閉式の樋にして水を分けて貰えるよう頼んだが聞いて貰えず伏せ越樋にした。

Ⅲ、新田開発前からの古田村である御供田の旧家にお邪魔しお話を伺いました。

◎（本田だった御供田2丁目の旧家を訪ね）御先祖はいつ頃からこの地に住まわれたか。

・寛文4年（1664）からの記録しか残されていませんが、もっと以前から住みついていたのでは・・・。



御供田八幡神社北側・旧恩智川 昭和10年

◎恩智川の開削は恩智家の手によると聞いておりますが。

・川の事は知りませんが、御供田新橋の南よりの水門跡から古堤街道に沿って井路がありました。

（現在は暗渠になっている）

*恩智川→恩地川→恩知川と資料に記載されている。

◎八尾の恩智神社との関係はありますか。

・つながりはないかと・・・。

◎四條畷の戦いに出てくる「恩地左近」とは同じ恩智家ですか。

・当家とは関係がないです。「恩地家」は奈良から出た人です。四條畷の「恩地」とつながるのではと思います。

◎宗派をお伺いしても良いでしょうか。

・現在は安楽寺の檀家ですが、昭和10年位までは野崎の専応寺さんの檀家でした。昔は野崎の専応寺しかお寺がありませんでした。

◎新田開発後からの橋は、どちらに架かっていましたか。

・現在の恩智川に架かる御供田中橋と御供田大橋の間位に「久太郎橋」があり、旧恩智川の北止まりのJR高架下のバイク屋の前に「恩智橋」がありました。

◎恩智川の堰はどこにありましたか。

・八幡さん（御供田八幡神社）裏の下りた辺りに堰があり、石の橋がありました。

*石の橋とは、堰石のことだろうか。

④ 平野屋新田会所跡の整備保全活動 平野屋新田会所跡の草取りや説明板を設置しました。

◆ 草刈作業

現在、会所遺跡は北西の一面が残され保存されている。サポーター会議はこの部分の草刈りと点検を教育委員会と共に行っています。今年度は、つぎの3回の作業と随時の見回りと清掃を実施しました。

6月 3日 午前9時30分～12時

8月18日 午前9時30分～12時

10月11日 午前9時～12時

また、見学会とガイド活動の前にも遺跡の点検整備を行い、遺跡内や周囲のゴミや空き缶等を拾い、気持ちよく見学・学習してもらえるようにしました。



草取り作業

◆ 説明板の設置

昨年度までは、現地には遺跡について知らせる説明板はなく、見学会の時にパネルを手に持ったり金網に結び付けたりして案内していましたが、今年度は、手作りの遺跡説明板を初めて設置しました。



新田会所跡地に設置した説明板と跡地内の説明板

《3》平野屋新田会所特別展 への参画

① パネル・新田地図作製展示

◆平野屋新田会所特別展「よみがえる平野屋新田会所」

・会場：大東市立歴史民俗資料館（大東市野崎3-6-1）

・期間：平成28年11月12日～平成29年1月15日

大東市市制60周年を記念して平野屋新田会所特別展が歴史民俗資料館で開催されました。建築・考古・文献・民俗・宗教の多角的視点からの展示と関連事業として講演会・シンポジウム・見学会が行われました。市民サポーター会議は、特別展を紹介する映像の制作や活動紹介パネルの展示、見学会の案内等の活動に進んで参加しました。

また、教育委員会が手掛けた大型の新田地図の作成にも協力しました。今回は、平成2年(1990)に歴史民俗資料館に於いて開催された特別展「近世大東の新田開発」に合わせて作成された市内の新田地図を参考に深野池跡の五新田部分を作り直しました。その過程で、新田開発時の深野池の範囲や水路などの詳細は、まだ不明な部分が多いことがわかり、調査や研究の必要性を感じました。

今回の特別展では、四会所交流事業と合わせ、府下の新田会所の紹介や交流も図られました。四会所集印地図が作られ、スタンプも当面歴史民俗資料館窓口に置かれることになりました。



新田地図は2m×3m程あり60センチ幅の地図を5枚組み合わせるのに苦労しました。2回作り直したので完成した時は、「ヤッタ感」に浸ることができました。

会所屋敷の建物配置を表した展示室でビデオを観た後説明を聞く来館者。



大型地図に見入る来館者の姿

② 特別展案内ビデオ「よみがえる平野屋新田会所」制作協力

◆ 平野屋新田会所 はやわかり映像(9分) 作り

特別展「よみがえる平野屋新田会所」に訪れた方をまずお迎えするのは、大型モニターに映し出される9分の映像「よみがえる平野屋新田会所」でした。それは来館された方にまず平野屋新田会所の全体像をおさらいしていただき、そのあとの全館展示の鑑賞手引きになればと、平野屋新田会所市民サポーター会議が大東市教育委員会と協働で制作したものです。

根幹になる構成・脚本は教育委員会生涯学習課が作成し、以下同課の指導で、ナレーションを加え、提供を受けた皆さんの資料や写真をもとに編集し完成にこぎつけたものです。

残念だったのは全編ほとんどが静止画(写真)で、動画がワンショットだけの上、映像処理も素人臭く稚拙だったことですが、そんな限界があるのは初めからわかっていたことで、それを補うべく努力したものです。期間中歴史民俗資料館の大型モニターで常時上映され、「特別展鑑賞の手引き」の役割は果たされたものと思います。



「よみがえる平野屋新田会所」
トップタイトル



市は跡地の一部を買い取り
保存計画を進めています。

深野池の跡の二つの新
田を管理しました。



災害時には住民の避難
所の役割もしました

特別展は、建築・考古・文
献・民俗・宗教の視点で展
示されています。



映像「よみがえる平野屋新田会所」の一コマ

《4》 四会所交流事業

① 四会所交流の取り組み

大阪平野では、大和川の付け替えをきっかけにして江戸時代中期ごろから新田が開発され、その管理事務所として会所が置かれました。

現在、大阪府内には鴻池新田会所（東大阪市）・安中新田会所（八尾市）・加賀屋新田会所（大阪市住之江区）が現存しており、大東市には、平野屋新田会所の遺構の一部が保存されています。

これら新田会所跡のうち、安中新田と加賀屋新田、鴻池新田の会所施設が協力して進めてきた「三会所交流事業」に今年度から平野屋新田会所市民サポーター会議も参加させていただき「四会所交流事業」として、それぞれの組織の取り組みと行事などの情報交換や協力が図られています。今年度は、平野屋新田会所特別展行事の中に四会所見学会が設定され、他会所の方々に平野屋新田会所跡を訪れて頂くとともに、私たちが他の新田会所を見学する機会も設けられました。



四会所集印地図・スタンプは各会所施設に置かれています。

② 大阪四会所スタンプラリーの企画

今回、平野屋新田会所特別展を機に、三会所が以前から実施していたスタンプラリーに平野屋新田会所を加えて頂くことになりました。集印地図と各新田会所のスタンプ、新しい記念品も用意されました。なお、集印地図と平野屋新田会所跡のスタンプは大東市立歴史民俗資料館に置いています。四つの会所を巡り、大坂の発展を支えた新田開発の歴史に多くの人に触れて頂き、同時に大東市における平野屋新田会所の歴史や意義を知って頂きたいと思っております。

③ 他会所見学者案内活動

特別展期間に合わせて、11月30日、加賀屋新田会所「住之江のまち案内ボランティア」の皆さん方が展示会場と平野屋新田会所跡を訪れました

サポーターが歴史民俗資料館から東高野街道・古堤街道を
通って会所跡までご案内し、陽が傾きかけるなか住道駅まで
お送りしました。

特別展事業として組まれた他会所の見学会にもたくさん
の方々が参加されました。



④ 三会所からの励ましのメッセージ

平野屋新田会所は保存を望む市民の声もむなしく潰され、残念至極
でありました。その姿は消え去ったわけではなく、市民の「心」には
しっかりと残っています。特別展での古文書・絵図開示と解説、会所
の模型、水車を含む農機具、生活用品の展示は印象的でした。今後も
この展示は続けて欲しいです。「3D ホログラフィー」などの技術を
駆使すれば現地で原寸大のデジタル景観復元・蘇生もできます。平野
屋新田会所は永遠に不滅です。

(加賀屋新田会所 住之江のまち案内ボランティアの会 實 清隆氏)



住之江区南加賀屋4-8-7
06-6683-8151

平野屋新田会所市民ポーター会議のみなさま

平野屋新田会所は、保存されていれば鴻池新田会所とならび国の
史跡・重要文化財となりうる貴重な文化遺産でした。二つの会所の
木立が眺め合えるかつての情景を想像いたします。2008年に建造物
のほとんどは失われましたが、その一部とともに文書類や器物、水路
などの周辺の遺構はむしろ鴻池新田より残っているかもしれません。
それらを活かし、寝屋川に育まれた歴史を語り続ける活動をできる
かぎり応援させていただきたく存じます。(鴻池新田会所 松田順一郎氏)



東大阪市鴻池元町2-30
06-6745-6409

会所の建物が失われたことは誠に残念ですが、その歴史や新田会
所に馳せる皆さんの思いがずっと守られることを願います。

三つの会所が集まりスタートした会所交流も今は四会所交流とな
りました。複数の川が集まって大きな流れを作るように、互いに協
力し合い、今後も活動ができればと思います。末永くよろしくお願い
します。

(安中新田会所跡旧植田家住宅 安藤亮氏)



八尾市植松町1-1-25
072-992-5311

《5》市民・参加者の声

地域の行事と連携し 若者を寄せ集めて 歴史・伝統・その地域の良い所を知ってもらうツアー または歴史的建築物を保護するための署名を集う。(北条の米)

跡地+銭屋川船着場の整備をし、船あそびなど史跡公園広場とし、歴史と遊び空間の整備を。

飯盛山のふもと、新田のまちをアピールする。

大東の歴史が少しわかるようです。もっと知りたいです。(W)

銭屋川・十二号水路・古堤街道。子どもが遊ぶ川・水路。高齢者の散策道ビックカメラ!!

古民家カフェとして活用する。

つい最近まで現存されていた事を知り残念な気持ちです。地図は現在と比較でき参考になりました。

大東の歴史を知ることができました。(大東住民)

サポーターの活動が分かりやすくておもしろいです。

アイディア、掲示板、良いですね。堤切所や天井川 etc チビッ子には難しいかと。

会所跡と周辺環境の整備構想をして新田のまちをアピール。旧公民館跡を大東市が早急に購入する。

大東の歴史が少しわかったようです。もっと知りたいです。(大東平野屋)

ふりがなをふって子ども達にもわかるようにしたらどうでしょうか。頑張ってください。

平野屋新田会所サポーターの方々、本日はありがとうございます。残された部分大切にしていきたいものです。

このパネル展 もっと大東市民の方に・・・大東にも平野屋新田会所が存在していた つい最近まで・・・

それほどお金をかけなくてもよいが、それなりに、最低限の整備をすべき。

大東市にも、「平野屋新田会所」が昔あったことは、初耳です。かつてあった部分をそのまますべて復元することは、できなくても、歴史資料を参考にしながら、少しずつでもいいので、魅力アップの向上に努めていただければさいわいです。

大東市にこんな良い歴史的建造物があることはうらやましいです。大切に保存してください。(門真市民)

新田会所の船着場と川のクリーンアップをして、後世に残る史跡としてほしい。

史跡整備に期待します。東大阪市民

大東市の新田開発がわかる資料映像を後世に伝える会館を。

平野屋新田会所がもっと広く知られるために頑張ってください。

跡地の整備とともに、小学生の学習などの研修施設にして活用。市民講座等の現地研修施設としての活用。

会所や歴史的な建物は残すべきだと思う。(DANCE インストラクタ)

展示会や特別展で寄せられた

声

平野屋新田会所の新たな大東市民の憩いの場所への変身を期待します。

平野屋新田会所を代表として、他の新田開発が大東市の発展に寄与した事を後世の子供達に映像等を利用した施設の建設が必要と思う。

歴史と憩いの場となればいいですね。米づくりに因んだ季節ごとのイベントなんかをするのもよいのでは・・・。

江戸時代の大東の文化・歴史をひも解く拠点になればいいな。

惜しいね。全建物保存してほしかった。税金使ってでも価値あったのにねー。

鴻池新田会所は史跡、平野屋会所は

鴻池新田会所のように住民に貸し出したり、お茶席をしたり、いいの場になったらいい。

大東のふるさとの一
端平野屋新田会所の
一部復元できたなら
あー。(大東市民
75 のじい)

たくさんの方が市民サ
ポーターとして活動して
下さるのを待ってまーす。

今回のパンフの『よみがえ
る』というフレーズを見た
時、あの住宅に囲まれた現
地を思い出し、よみがえる
なんてムリやんて思っ
ていました。でも、展示を見
て、私の頭の中にうっすら
と平野屋新田会所(見たこ
とないけど)が見えた気が
しました。サポーター他
皆さんの努力に脱帽です。
たくさんの方の頭の中
にあるものが目に見えるも
のになると良いですね。

大和川の付け替え、新田
開発は、現在の八尾・柏
原・東大阪・大東など、
河内の国の基礎になるも
のです。歴史的、文化的
にも価値の高い平野屋新
田会所をぜひ復元してほ
しいです。子、孫に伝え
るべき文化財です。国、府、
市、市民、府民の力を合わ
せれば実現できます。

とても興味
深い展示で
した。
寺川在住

なんで取り
こわす
前に大東
市は保存
しなかつ
たのか？
部分的な
復元はで
きないも
のでしょ
うか。惜し
い！

CG 画像を使っ
ての昔の
風景を描く
のはどう
でしょう
か？初め
て来まし
たが楽し
かったです
。近所
なので次
の展示も
また来
ます！！

今年度の活動目標の一つに昨年度
に続き「市民の声をきく」を掲げまし
た。今年度のいいもりぷらざ・来ぶら
り南郷・環境フェア・特別展で寄せら
れた声を紹介いたします。

すばらしい展示でした。よく分
かりやすい説明も気に入りました。
又、ゆっくり来たいです。
他の三会所の比較の写真や地図
もあればとも思いました。

貴重な「会所跡」です。
まず正確な模型を図
面通りにつくって下
さい。(これは専門的
な作業でお金もかけ
て)それと、地図(平
面図)だけでなく高低
差もあらわす立体地
図を是非つくって下
さい。

広範囲にわたるジャン
ルを一気にという気概
は伝わりました。宗教ジ
ャンルでも祭礼と仏教
で分けて深める。地理で
いえば、地形、資本、経
済、政治で分けて深く知
りたいと思う所がたく
さんありました。あと、
さわたり撮影できる
レプリカとかもあると
体感や体験につながり
そうという印象を持ち
ました。

会所を復元して 皆で話
し合って、でも昔の歴史を
大切にしつつ、つどえる場
所にしたらどうでしょ
うか。(A・K中学2)

大東市の歴史
が少しわか
った。 博
士みたい
になれま
した。も
っと知
りたいで
す。(大東
市民)

会所をぜひ復元して
大東の名所にしてく
ださい。

大さかの
れきしが
わかり、
はかせ
みたい
になり
まし
た。

パネル展は
出来るだけ
多く開い
て、多く
の市民に
知って
もらいた
い。そし
て早く
会所の
再現を
願う。

大和川のつけ替え工事の話は、小学校の道
徳の授業で聞いたことがあったので、自分
の住んでいる地域は池だったことは知って
いました。最近、地元民でない先生も働
いていらっしゃるでしょうし、一度近隣の
小・中学校に社会科見学のお声をかけてみ
てはいかがでしょうか。子どもに地元愛を
育ませるのも教育の一貫だと思います。

地元の歴史的
建造物を次の
世代に伝える
ため、会所跡
公園を整備し
市民の場所と
してアピール
する。

大東の歴史が少し
わかりました。もっ
と知りたいです。
(Ren)

大東市の歴史
を知ることが
できました。

大阪が何年あるのか知らないから
早く知りつくしたいです。(優)

パネル展 分かりやすく 深野池が新田
開発された経緯がよく理解できます。

会所 なんてつぶ
したの。跡地など
みたくない。近
くに鴻池
新田会所が
あり、す
ばらしいぞ。

II サポーター本音トーク

座談会 活動を振り返り 4 年目に向かって

平野屋新田会所市民サポーターは発足して満 3 年を迎えました。平野屋 1 丁目に残る 476 平方メートルの跡地とその周辺、さらに 200 年前の姿をそのまま残している数々の樋門にまつわる記憶を、さらに鮮明にすべく活動したこの 1 年と、今後の方向を語り合いました。以下はその内容を要約したものです。

座談会出席者

河村共之 木原哲也 柴田俊雄 高見庸子 地引道子 豊芦勝子

中西昭治 中村義之 林田恵子 福本勉 藤井俊梧

水永八十生 (司会)

佐々木拓哉 吉田浩樹 (以上大東市教育委員会生涯学習課)



スタンプラリー印

今年は、いろいろな活動ができました！

司会 今年度は初めて私たちで活動組織を立ち上げ、部会を作り活動をしてきました。それと、各個人としていろいろやってきました。それらについてまず初めに話してください。

A 去年の報告書を読んでもっと多くの人に関心を持ってもらう必要があるという意見が多かった。実際 28 年度はいろんなところで活動的に展示会をやり、昨年にくらべると進歩できたと思う。地道に平野屋のことを知ってもらえる努力をやっていると思う。

B 生涯学習センターアクロス、いいもりぶらざ、西部図書館でやったことは大東市民として素晴らしいことをやったとほめてもらえると思う。今までは北条でやってることは北条だけ、アクロスでやってることはアクロスだけで市民が一体となれなかった。いろいろな場所でやれたのは非常に有難かったし、これが本当の市民活動だと思う。

C 今年度からは行政から少し離れて、我々が

主体的に進めて行くということでやり始めた。部会をつくった方が機能的であるということでやったが、それがうまくいったかどうかはわからないが、より多くの人に知ってもらうためにいいもりぶらざや西部図書館で展示会をやったし、環境フェアやだいたい博覧会でも PR でき、多くの市民の方の目にふれられたと思う。今年は公共施設でやったが、来年度は商業施設での PR にもチャレンジしたいと思う。今年の活動はかなり評価されていい。

司会 D さんにはハンコを作ってくださいサポーターの活動が質的にも広がったと思うが。

D 時折休んだので、その間の詳細を教えてもらえてなかったから、また私は部会に参加していないので、なかなかみなさんの話についていけない。みなさん若い方ががんばっているのが安心している。サポーターの活動と、はっきりわかるハンコがあった方がいいと思い作ったが、事前に大きさ等の指示をしてほしかった。

E 29 年度は大人だけでなく子どもにも目を向けていただくために、あのスタンプを使っただけという。

B 四会所スタンプラリーを29年度はさらに充実しなければならないと思う。我々が他市から来られた方のおもてなしを応援しないといけない。

F 28 年度から参加して、最初は何をしたらいいかなとはっきりとはわからなかった。しかし、一年間いっしょにいろんな取組をサポートとしてやったことで、平野屋新田会所の

特別展にもふくらみを持たせることができたと思う。それぞれの趣味や特技がいかせる場だと思う。特別展のシンポジウムで藪田先生がおっしゃったように、大東市の原点である平野屋新田会所跡を残せたことで、後世に伝えていけるとっかかりとなる場が残っているし、今後それをどう活用していくかを話し合えるのが、市民サポーターだと思う。跡地の一部をどう保存するかにとどまらず、大東市そのものの原点だとあらためて思った。

新しいことも、もっとやりたい！

司会 それぞれの人が特技を出し合いいろいろな活動をしました。

G サポーターに入って、映像をつくる仕事をいただけたのがよかった。私は動いたり、人前で話すことは苦手だが、映像を作る特性を見出さしてもらったことに感謝している。今回つくった映像は静止画ばかりで動きがない。今度つくる映像では跡地で口けをやって、動画を是非入れたい。

C 今度は映画をつくりましょう。

D パネル展で市民に広報するために部会ができたと思う。今後どう活動するのがはっきりしなかった。

B 映像は素晴らしいと思う。耳から入ったものはすぐ消えるが、目から入ったものはなか

なか消えないので、パネル展は今後もつづけていくべきだと思う。

C 多くの人に知らせるためには、映像やパネルなどいろいろな手段をミックスして考えていかないといけないと思う。

B 私たちは平野屋新田会所からぶれたら駄目だ。我々が持っている最大限の能力を使って、少しずつ進んだ方がいいと思う。

D 行政が何をしようとしているかがわからないと、やり甲斐がない。予算がないと前に進まない。サポーターは大東の史跡をサポートする方向に持っていった方がいいのではないかな。

行政の各部門が共働して井路や樋門など、残すべきものを残すことに取り組んでいける方向になればやり甲斐が出てくると思う。そういうことを市にお願いするのも私たちの役目だ。

学習も、パネル展も映像も、もっと広げていきたい！

司会 平野屋新田会所のことをもっと広く知ってもらおうと取り組んだ現地周辺ガイド・パネ

ル展・案内・映像・紙芝居など、その感想等を話していただけますか。

F いま府市連携講座で「遺跡が語る大東の歴史」をやっている。三会所は建物が残っているが、平野屋新田会所は建物でなく遺跡が残っている。大東市は「遺跡を語る」ことをやっていく必要がある。

H 住之江区の方から、どうして加賀屋新田会所が残っているのに平野屋は残っていないのという感想があった。パネル展では建物がないのにどうするのという感想も見られた。見学会は人数が少ないかもと聞いていたが、大阪産大の学生や留学生も来られ、案内しがいいがあった。事前に今米（東大阪）の川中家などにも行って自分なりに学習してガイドに挑戦した。

I 今年度の活動は四会所スタンプラリーや特別展もあり、大東市に新田会所があったことを多くの人に知ってもらえたと思う。来年度は、特別展でつくった深野新田の地図を専門家や大阪産業大学の協力も得て、是非完成したいと思う。地図がきっちりと出来れば水路や樋門のことも明らかになると思う。

E（今の東大市の地図上で）、深野池の位置がきっちりわかる地図をつくりたい。

D いま住んでいるこのあたりから深野池だったというのがわかればいいと思う。

I 市の方には、産業大学や専門家への連携の呼びかけを是非お願いしたい。ハードの面は行政に任せて、我々はソフトの面でがんばればいいと思う

B 28年度は三か所で展示をやったが、諸橋や津ノ辺、北新町などまだやっていないところも多い。29年度はそうした場所でも展示すべきだと思う。

I 29年度は大東市の新田の調査研究などを専門家を呼んでいっしょにやりたいと思う。

J 大東市には50年以上住んでいるが、サポーターに参加して市内を歩いてみると、歩いた

ことがないところばかりで驚く体験が多かった。これからは高齢化によって、自転車に乗れないような人も増えていくので、行動範囲が狭くなる人も街歩きは良い。

B 市民からまた展示をやっているとされるくらいにならないといけない。

E 平野屋新田のビデオを高齢者の交流会などで流せばいいと思う。

K 去年の暮れ、町内のクラブで平野屋のビデオを流した。その後一人現場まで見に行った人がいたが、工事現場みたいという感想を言っていた。もう少し跡地が整備できていたら感じがよかったのになあと思った。

B それでも50円でダビングができるのだから、みんなが映像を地元で流せばいいと思う。

C 地道な活動が絶対に生きてくると思う。学術的な活動も必要だと思うし、跡地の整備活用についても市をバックアップしていくことが大事だと思う。平野屋は大東市で一、二を争う遺産なので、我々はこれにこだわる必要がある。公共施設だけでなく、商業施設など人が集まる場所で展示や映像の上映を流せるように来年度はがんばりたいと思う。

司会 映像やパネルにはそれぞれ良さがあるので、多面的に活動の輪を広げていく必要がある。

C パネル展でいろんな感想をくれた人がサポーターの活動にも参加してくれたらいいと思う。

J 15年くらい前にできた元気でまっせ体操のビデオが各所で流れられて、みんな楽しみに行っている。体操のあとに15分くらい平野屋のビデオを見てもらうのはすごく効果があると思う。

司会 未来の市民である子どもたちにも入っていきたいと思う。子ども達に直に入っていくと同時に学校といっしょに教材をつくっていく活動も考えていきたい。

E 来年度は諸福小学校の土曜日学級で平野屋新田会所の紙芝居をさせてもらえることにな

った。

C 会所跡に社会見学で来てくれるのが一番いいと思う。学校は一年間のカリキュラムが決まっていてなかなか門戸を開いてくれない。学校が駄目なら地元の子どものグループなどに呼びかけるのも大事だ。

会所のフォーラムをやっていろんな個性を迎えたい！

F 29年度はさらにやろうという意見が多い。市の方であそこに資料館のようなものができれば会所の全体像がわかるようになると思う。

E 聞き取り調査の中で、平野屋の近辺の方が、船着き場の再現を何故しないのかと言っていた。銭屋川は水がよどんでたまる場所ではないと言っていた。船着き場を再現し、踏み車を置けたらもっとアピールできると思う。

A 現状はあまりにも学習の場としては寂しすぎるので、会所跡の整備がまずあるべきだと思う。それをしないと前に進まない。

C 会所の整備にあたって、我々がバックアップできることはあるか？ もしあれば市民の声として届けたい。

A 「やまびこ」という団体が「私の大東自慢」というフォーラムをやった時、いろんな方から面白いアイデアが出された。今年の秋には平野屋新田会所に關するフォーラムを是非開催し、市民の方からアイデアを集めたいと思う。

E 「やまびこ」のフォーラムは市の提案公募で施した。平野屋新田会所市民サポーター会議でも是非提案公募にチャレンジしたい。

D 現状では、教育委員会から招集されて動い

ているような感覚がある。連絡網を作って、代表から直接サポーターに参加の声をかけてもよいのではないか。

C 欠席した方や、新たに加わった人が気軽参加しやすいように、わかりやすい会議録を作成する必要がある。そして参加している方の意識もあらためていく必要がある。

司会 サポーターの皆さんは実力者ぞろいなのでいろいろな役割分担をしていきたいと思う。今後も平野屋サポーターとしていろんな個性のある人たちも迎えたい。今日の座談会では、今後の活動への取り組み方についていろいろなアイデアをいただき活動の幅を広げていく必要を感じた。皆さんの思いの強さだけでなく、実現をしようという意欲を感じることができた。大東市にも、我々の熱意や運動を受け止めていただけたと思う。対立型の運動ではなく、行政と市民とが同じ目的に向かって手を携えていく展望が開けてきていると実感している。

平成29年2月11日

於大東市教育委員会会議室

Ⅲ. 資料

《1》新田会所ガイドコース①・②

① 街道に沿って新田遺跡に向う 住道駅～平野屋新田会所跡コース

住道駅を起点に、古堤街道に沿って旧街道の様子や 旧大和川跡を確かめながら平野屋新田会所跡に至るコースです。



坐摩神社本殿

平野屋新田会所市民サポーター会議

①. 「古堤街道」銘 道標

大阪と奈良を結ぶ道で、新田開発前は深野池を船で渡っていました。この道標は、明治 35 年の設置です。



②. 旧大和川(吉田川)跡

大和川の支流がこの付近で深野池に流れ込んでいました。今は道路になっていますが、ゆるやかな蛇行にその名残が見られます。



③. 旧恩智川

40 年ほど前に付け替えられた恩智川の跡で、現在は農地になっています。新田開発時の川の姿が推察されます。



④. 通称「さんだんもん」樋

弘化二己年(1845)銘
この地点は二つの水路が交わる要所であることから、この樋も重要なものであったと考えられます。



⑤. 「又」の刻印境界石

土地の境界を示す石です。「又」の文字は新田の所有者であった平野屋又右衛門の「又」と考えられています。



② 江戸時代の石造樋門を見る 市民会館～平野屋新田会所跡コース

大東市立市民会館から 御堂会所とも称された深野新田会所跡や今も残る江戸時代の樋門や井路(水路)を見ながら 平野屋新田会所跡に至るコースです。



坐摩神社

平野屋新田会所の屋敷神として勧請された神社で、江戸時代末期に地域に開放され、村の鎮守社となりました。

平野屋新田会所市民サポーター会議

①. 深野新田会所跡(両皇大神社)

御堂会所跡とも称され、深野新田開発当初の会所跡と考えられます。現在は、両皇大神社があります。



②. 谷川 1 丁目所在の樋門

安政六未年四月(1859)銘
銭屋川の流路に残る樋門の一つです。



③. 通称「かみなり樋門」

嘉永四年亥年(1851)銘
銭屋川の分岐地点にある樋門の一つで、通称の由来は不明です。



④. 通称「どんぼの伏せ越し樋」

年号不明
旧錦田川の下を潜る伏せ越し樋です。「どんぼ」の意味は分かっていません。



⑤. 農民感謝碑

明治 18・22 年の大水害時、会所が救済に乗り出したことに感謝を表すため、明治 25 年に農民有志が建てた記念碑です。



新田会所ガイドコース ③・④

③ 新田開発と水の管理を考える

住道駅～南新田・平野屋新田会所跡コース

寝屋川と恩智川の二つの川からスタートし、水路や樋門を巡りながら、**新田の水問題**を探りつつ平野屋新田会所跡に至るコースです。



平野屋新田会所市民サポーター会議



①. 旧三箇村絵図(河合家文書)

水利上、新田開発直後に、寝屋川と恩智川が並行して流れるようになっていたことが、この絵図からも分かります。



②. 久太郎橋跡

新田開発時、本田村と多くの
約束事が交わされました。この橋もその一つでした。



③. 待機

新田を南北に貫く水路(井路)にある水位調整の重要な樋です。今の樋は、近代になって改築されたものです。



④. 南新田公民館前樋門

嘉永四亥年(1851)銘
かつては恩智川からの用水樋として新田全体に水を送っていました。



⑤. 落合橋下伏せ越し樋

山側から流れ来る川の下に1m四方の木製伏せ樋を通して、河内屋南新田と深野南新田を一つの水路で結んでいました。

④ 古の街道から平野屋新田会所跡へ
歴史民俗資料館～平野屋新田会所跡コース

京都と高野山を結ぶ東高野街道と、大阪と奈良を結んだ古提街道を進み、遺跡を遠望しながら平野屋新田会所跡に至るコースです。



平野旭新田会所属市民サポーター会議



①. 東高野街道

平安時代から盛んになった高野詣での道で、京都と紀州方面を結ぶ重要なルートとして、軍記にも多く登場しています。



②. 古代寺院蓮光寺跡と
堂山古墳群

古代寺院蓮光寺跡と伝わる付近から5世紀初めの堂山1号墳が間近に見られます。



③. 大峯山上碑

大峯参りなどの道標があり、江戸時代からの信仰の様子が垣間見られる街道の交差点です。



④. 中垣内遺跡

変電所建設工事で発見された遺跡で、縄文から古墳時代におよぶ集落跡などが確認されています。



⑤. 深野池の水際 中垣内浜

山から真直ぐ下ってきた鍋田川の河道跡で、このあたりで深野池に流れ込んでいました。

《2》 平野屋新田会所文書・絵図・聞き取りから わかりはじめた 江戸時代の平野屋新田水利体系

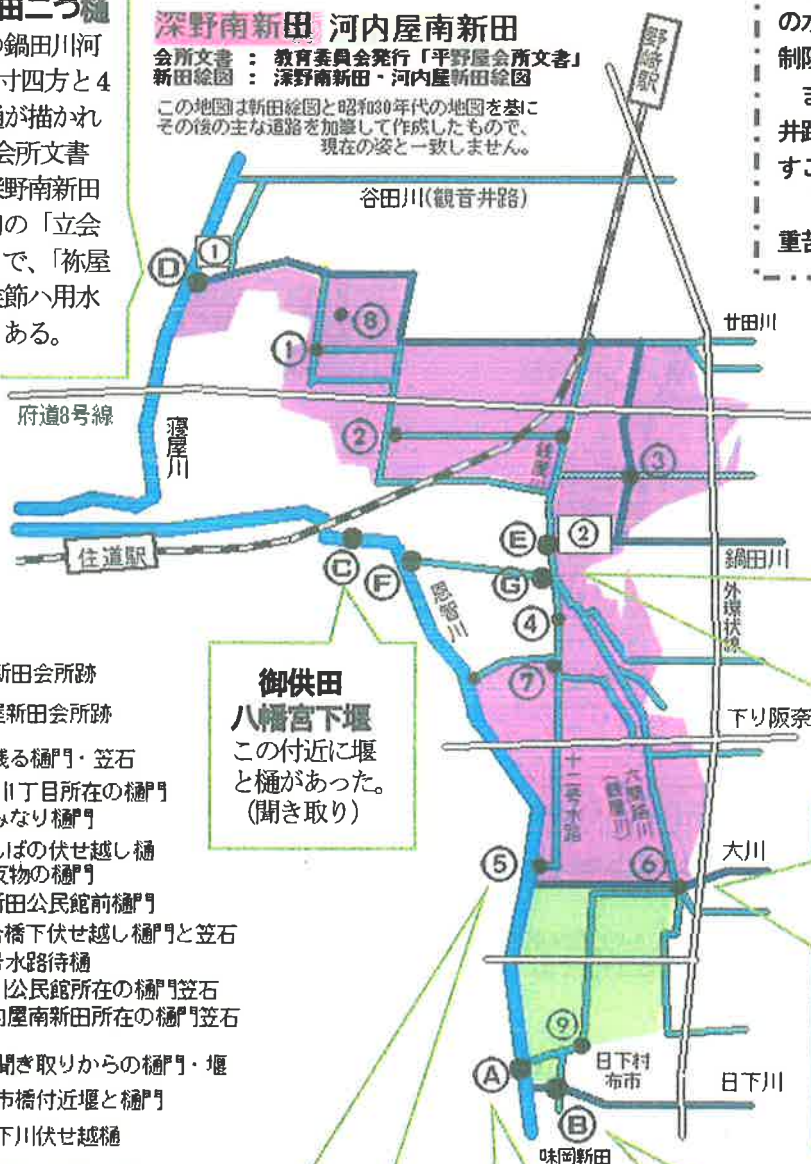
深野南新田二つ樋

新田絵図の鍋田川河口に5尺4寸四方と4尺四方の樋が描かれている。「会所文書Ⅲ」にも深野南新田と深野新田の「立会用悪水樋」で、「祢屋川流御座候節へ用水入申候」とある。

深野南新田 河内屋南新田

会所文書：教育委員会発行「平野屋会所文書」
新田絵図：深野南新田・河内屋新田絵図

この地図は新田絵図と昭和30年代の地図を基にその後の主な道路を加筆して作成したもので、現在の姿と一致しません。



① 深野新田会所跡

② 平野屋新田会所跡

● 現在も残る樋門・笠石

① 谷川丁目所在の樋門

② かみなり樋門

③ どんばの伏せ越し樋

④ 三反物の樋門

⑤ 南新田公民館前樋門

⑥ 落合橋下伏せ越し樋門と笠石

⑦ 12号水路待樋

⑧ 谷川公民館所在の樋門笠石

⑨ 河内屋南新田所在の樋門笠石

● 絵図や聞き取りからの樋門・堰

① 布市橋付近堰と樋門

② 日下川伏せ越樋

③ 御供田八幡宮下堰

④ 寝屋川表谷川二つ樋

⑤ 銭屋川会所前堰

⑥ 恩智川筋御供田村橋際樋

⑦ 四門井路口板関

**御供田
八幡宮下堰**
この付近に堰と樋があった。
(聞き取り)

銭屋川会所前堰

⑤の場所に新田絵図で堰と樋らしい印がある。新田開発当初、新田側と御供田・灰塚・三箇村の間で水論が起こり役所裁定で「中垣内浜」にある樋で水を分けあうことになった。(「会所文書Ⅲ」) その樋は特定できないが、この辺りのどれかの樋になる。

落合橋下伏せ越樋

大川の水は恩智川に直接流す約束となり、大川の下に樋を伏せて河内屋南からの水を深野南新田側に流す唯一の水路であった。今も石の樋門や笠石が残されている。

日下川伏せ越樋

「会所文書Ⅲ」の落合橋下伏せ越樋の説明と思われる文中に「日下村山水井同郡味岡新田悪水、深野南新田内川へ落・・・」とある。新田絵図にも樋が描かれている。地元の年配者の記憶にも、以前は山側からと味岡新田側から水を取っていたとある。今は、その樋も閉ざされ、用水には地下水が使われている。

布市橋付近堰と樋門

恩智川の水位を調節し、大坂からの肥舟が上ってきていた。御供田八幡宮下堰も同じ役割であった。また、新田絵図にこの堰の近くに樋門が描かれている。「会所文書Ⅲ」にある「恩智川表用水樋」と思われる。

南新田公民館前樋門(満島用水樋)

「会所文書Ⅲ」に「南新田恩智川用水樋・深野新田、同北新田、同南新田用水樋也」とあり、開発当初は深野3新田にとって重要な樋であった。水は新田内を通して「谷川式つ樋」から寝屋川に落とされた。今も石の樋門が残されている。新田絵図にも描かれている。

《3》大和川の付け替え以前からの水害

平野屋新田会所サポーター会議 水永

番号	年号	西暦	月/日	水害の様子	出典等
	寛文元	1661		六郷井路開削	
	寛文5	1665		寛文の整備事業	
1	延宝2	1674		寅年洪水（甚兵衛絵図 堤切れ 35）6/14 淀川仁和寺堤切れ	⑧ ②⑩
2	延宝3	1675		洪水（同 堤切れ 19）	⑧
3	延宝4	1676		洪水（同 堤切れ 10）	⑧ 迷惑訴訟
4	延宝9	1681		洪水（同 堤切れ 6）	⑧
5	天和3	1683		洪水（同 堤切れ 7）	⑧
	貞享元	1684		貞享の治水工事 3月土砂留令 8月畿内土砂留制度発足	
	貞享2	1685	11/	流作の全面禁止	
6	貞享3	1686		洪水（甚兵衛絵図 堤切れ 4）	⑧
	貞享4	1687		川替え願ひ、流作・新開・切畑など禁止 万年長十郎が代官になる	
	元禄9	1696		萩原勘定奉行になる	
	元禄11	1698		元禄の治水工事～1699	
	元禄16	1703		4月万年から見分 5月三郡 32村百姓迷惑訴訟拒絶される 10月付け替え決定	
	宝永元	1704		1月付け替え通知 2月付け替え工事開始（～10月）	
	宝永2	1705	4/	新田開免開始	
	宝永4	1707		10/4 宝永地震（東海南海連動）鴻池会所建物・井路等被害多く出る。12/16 富士山噴火	②
	正徳元	1711		鴻池新田大風で百姓の家屋破損多し	②
1	正徳4	1714		二箇村（付け替え・新田開免で水利不安定化し）旱魃で本綿作りに転向	⑫
2	正徳6 (享保元)	1716	5/ 6/20	新大和川が大和橋から4丁西で60間決壊。 大堀村の橋・樋流出。築留100間余・船橋と国府村境80間余切れる。 築留堤防決壊、摂河大洪水。（「申歳切」） この洪水で新田も被害を受ける。	⑪ ③ ② ①
3	享保2	1717	6/27	摂河洪水。北河内・中河内、東成郡に広がる。河内だけで149村が被災。	⑪
4	享保3	1718	8/	新大和川洪水。堺市中が浸水。	①
	享保4	1729		再検地で石高が2倍に。（新田経営苦境に	
	享保5	1720	6/	幕府が河川治水対策新方針決定	
	享保6	1721		深野新田が完全に平野屋に譲渡される	
5	享保7	1722	7/7	淀川大洪水（「点野切」） 深野新田会所「大破に付き新建」	⑪
6	享保10	1725	4/～5/ 夏	洪水で新田作物全滅（荒池切れ）。徳庵井路の堤が破損 「已五月ノ洪水已来ノ高水也・・新田伏越樋ノ南方ニ而崩壊いたし候」（日下村庄屋日記） 新田では「四月、五月両度之洪水ニ而夏作秋作一粒茂無御座候」 新大和川増水（7～8分に達し）堤の内側が崩れる	①②⑫ ④ ①②
7	享保13	1728	7/ 8/	風雨で淀川、木津川大增水。（この年は全国的に多雨・水害） 台風、日下川堤割れる	③ ④
8	享保16	1731		「当秋風水旱損ニ付」不作	⑬
	享保17	1732		畿内以西大飢饉	②
9	享保16	1734	5～6	諸国洪水 河内でも5～6月の長雨で不作	⑫
	享保19	1734	5～6	長雨。「諸国洪水」。	⑫
10	享保20	1735	6/21	淀川洪水、二矢村堤防決壊し摂河一円稲5万石腐る。 悪水問題で訴訟合戦。武力対立一触即発。	⑤ ⑬ ⑫
11	元文元	1736	6/21	淀川二矢村堤決壊、出口でも切れる	⑫
12	元文4	1739	6/7	大雨 摂州多田の庄流水で多数死す。善根寺村旱魃と大風雨で減免願ひ	③ ⑪ ⑫
13	元文5	1740		5/3 地震 雨8/4～6まで止まず。新大和川南側堤防決壊。堺北部洪水。二箇村不作	② ⑥ ⑫
14	寛保2	1742		畿内大洪水。南新田が樋の修理を多数願ひ出る	③ ⑫
15	寛保3	1743		洪水・角の堂堤切れる。村入用が「角堂切所・疊35土俵1357かせ木代で銀603匁4分」（約金10両） 二箇村不作	⑫
	延享2	1745		地主助松屋へ	
16	延享5	1748	6/5	新大和川堤防崩れかかる。大川筋所々で決壊	⑥ ⑫
17	宝暦6	1756	6/4・5 9/17 9/16	二箇村大雨風・「夏之大洪水一付」不作 大雨で東除川・石川の堤が切れる。 伏見・木津川洪水。淀川両堤決壊・洪水（淀～枚方で274所切れる、讃良郡、交野郡では「申歳切」以来の大洪水）	⑫ ⑦ ⑪ ⑫

18	宝暦 10	1760		二箇村四度の大雨で木綿できず	⑫
19	宝暦 13	1763	9/3	大津波(高潮)で大阪湾岸被災。夜 8 時より大風雨で 5 畿内被害甚大。	⑪
20	明和 7	1770		120 年ぶりの全国大旱魃 おかげ参り流行	⑪
21	明和 8	1771		はじめ旱魃、一転大風雨、摂津・河内でも堤切れで大洪水	⑪
22	安永 2	1773		始め寒波京都大雪、疫病流行、6 月大風雨で大洪水	⑪
23	安永 4	1775	5/	滞留で洪水。	⑧
24	安永 8	1779	7/	畿内大風雨・洪水。	②
25	天明 2	1782		畿内水害。7~8 月に 3 度の大風雨で大不作「前代未聞之大損」	① ②③
25	天明 3	1783		「浅間焼け」冷夏。諸国凶作、天明の大飢饉。大坂打ちこわし。	⑪
26	天明 6	1786	6/13	大洪水、堤切れ多数、野崎から津田までで山崩れ多数、田に土砂流入。飢饉深刻化 年貢 3 割に減免	②③ ⑪
27	天明 7	1787		淀川大洪水。大坂打ちこわし・各地へ広がる。	②
	寛政 3	1791	8/15	「前代未聞の大地震」	⑪
	寛政 7	1795		小作大挙して大坂の地主助松屋宅に押しかけ奉行所で裁かれる	②
28	享和元	1801	5/	新大和川南堤、大和橋西方(遠里小野か)で堤防決壊。	②
			5/15	大和橋下流で堤防決壊。南島、山本、松尾新田流出。	⑤
29	享和 2	1802	7/1	大雨で淀川堤が仁和寺で決壊し大洪水。点野などの堤も次々に切れ、河内 149 カ村浸水。深野南新田 8 割水腐れ。	② ①
	享和 3	1803		地主天王寺殿へ	
30	文化元	1804	8/29	新大和川南詰堤決壊。堺洪水。	② ⑪
31	文化 4	1807		大雨、淀川堤大庭八番町で決壊。大洪水。諸福村 2 石 5 斗しかとれず。	③
32	文化 6	1809	6/	寝屋川茨田郡今津の堤切れる。6/29 大和川仮橋南詰 120 間決壊。	⑪
33	文化 8	1811	6/	新大和川南詰堤決壊。堺洪水。	⑤
34	文化 12	1815		天候不順で不作	⑪
	文政 2	1819	6/12	「百年此方なき大地震」(文政近江地震)京、大阪、奈良で被害多く出る	②
35	文政 3	1820		水害(深野南新田木綿大被害)	⑪
36	文政 4	1821		大旱魃	⑪
37	文政 6	1823		大旱魃	⑪
38	文政 7	1824		地主高松へ。天候不順で不作、虫害も出る。	⑪
39	天保 6	1835	春~	天保の大飢饉 河内の「郡々村々」より、「春から長雨で 5 月になっても続き、気温が上がらず作物全て」大凶作(翌 7 年 5 月に減免願い)	⑫
40	天保 8	1837		2 月大塩の乱 枚方「近年無類の凶作」	②③
	天保 9	1838	10~1	大坂を中心に疱瘡大流行	⑪
41	嘉永元	1848	8/10~	淀川筋大洪水、「古今無双の大水」枚方辺りでは水嵩 1 丈 6 尺)	②③
			8/14		
42	嘉永 4	1851		淀川洪水。諸村で堤切れ。大凶作で浅川・若江・讃良・茨田郡の 13 カ村が連名で、年貢減免を願い出る。	⑪ ②③
43	嘉永 5	1852	7/21	遠里小野の清水(新大和川右岸)95 間決壊。	⑪
44	嘉永 6	1853		遠里小野の清水で決壊。枚方では大旱魃。4/13 大風で鴻池会所大破。	⑤⑪ ②③
	嘉永 7~安政 2	1854~1855		東海南海連動大地震 津波 安政 2 年 10/2 江戸直下地震 地震関係出費「地震掛雑費覚」多数。	⑪ ②③
45	安政 3	1856		旱害で度々雨乞い祈願	②③
46	安政 4	1857	7/24	新大和川流域で洪水。	⑦
47	安政 7	1860		「内水にて困窮手残らず崩れる」	⑦
48	文久 2	1862		水腐れで検見	②③
49	慶應 3	1867	4/	新大和川洪水、堺で浸水。	⑪
				新大和川・淀川筋切れる。	⑪
50	慶應 4	1868	4/・	淀川大洪水で茨田郡・讃良郡浸水。「強雨」連続で洪水。	⑪ ②③
51	慶應 4	1868	4/12	新大和川決壊(古市・圓明・大井・若林・遠里小野)安立町 30 戸流出。	⑪
	明治元(1868.9)		5/13	豪雨で大和橋上流右岸決壊。安立町 30 戸流出。	⑤⑪
			5/14	新大和川流域で洪水。大井村で堤防決壊。	⑤(⑦)
52	明治 3	1870	9/18	新大和川右岸堤防が遠里小野で決壊。大坂側浸水。	③()
53	明治 17	1884	/	新大和川洪水、堺浸水。	⑤()

54	明治 18	1885	6/17	大阪大洪水。茨田郡伊加賀村で淀川堤決壊。摂津・河内大洪水。(河内 377 ヲ村 1 ヲ月間浸水。)	③ (10) ⑪
55	明治 18	1885	/	新大和川洪水。堺浸水。	② ()
56	明治 18	1885	/	恩智川・平野川洪水。	③ (9)
57	明治 20	1887	10/	大雨で築留第二堰破損。	③ (10)
58	明治 22	1889	8/19	新大和川 28 ヲ所決壊。 橋梁の流出 22 ヲ所。 新田も洪水被害	③ (9) ③ (5)
59	明治 29	1896	7/19 ~30	新大和川洪水。堺浸水。 石川 17 ヲ所、大和川筋(矢田村他)決壊し浸水。 淀川筋洪水、河内浸水。	③ ② ②
60	明治 29	1896	9/11	新大和川の枯木・富田・住道(すんじ)の堤防決壊。 恩智川、寝屋川など合流地点で逆流東成郡及び北河内の西南端、更に瓜破方面に浸水。	③ (9) ⑪
61	明治 32	1899	/	新大和川洪水、堺浸水。	③
62	明治 36	1903	7/7 7/8 7/9	石川筋決壊し橋梁流出。 安立町避難、上流の大田村北岸切れ、平野〜生野・鶴橋方面浸水 新大和川・西除川・東除川決壊。道路や橋流出。堺浸水。	⑪ ⑪ ③
63	大正 2	1913	/	新大和川が堺で洪水。堺浸水。	③ (8)
	大正 5	1916		永代掘問題から小作争議始まる(最終決着大正 11 自小作に移る。3 割 5 分自作、残りが普通小作で)	⑪ ④ ⑤
64	大正 6	1917	/ 10/2	石川決壊、平野川氾濫。 淀川大洪水、「わざと切」で大騒ぎ。 交野郡洪水。(牧野、禁野など)	③ (8) ⑪ ②
65	大正 11	1922	7/	西日本水害・大阪大洪水・暴風雨で被害大 南郷村砂子井路をめぐって数百名が睨み合い「各村民殺気立つ」(7/7 朝日新聞大阪版夕刊)	⑭
66	昭和 5	1930	8/2	大和川筋で山崩れ、奈良街道で河水 4、5 ヲ所氾濫。	⑪
67	昭和 7	1932	7/3	豪雨、新大和川筋の氾濫で柏原町も危険にさらされる。	⑪
68	昭和 7	1932	7/5	地震。亀の瀬トンネル崩れる。大和川川床 2 尺隆起。地滑りで奈良側(王寺町)水害。	⑪
69	昭和 9	1934	9/21 9/22	室戸台風被害甚大。鴻池会所の古木ことごとく倒れる。 室戸台風。四天王寺五重塔倒壊など風水害。	② ⑪
70	昭和 10	1935	6/ ~	西日本・近畿水害「大阪府下大混乱、堤防続々破壊」	⑮
	昭和 12	1937	4/	内務省直轄の大和川改良工事始まる。	③ (8)
	昭和 22	1947		農地解放令 昭和 27(1952)完了	
71	昭和 25	1950	9/3	ジェーン台風禍。(高潮・家屋倒壊)	⑮
72	昭和 28	1953	9/	台風 13 号。奈良県と大阪府で浸水 13 万戸以上。	⑮
73	昭和 36	1961	9/15	第 2 室戸台風・特に近畿で被害大	⑮
74	昭和 47	1972	9/18	台風 20 号。大東水害。	⑮⑪
75	昭和 49	1974	/	大東水害。	⑮
76	昭和 54	1979	6/ 6/29	梅雨前線で出水。中小河川決壊、浸水 5 千戸以上。 大東水害。	⑮⑪
77	昭和 57	1982	8/1	大雨。西除川で大被害。各地で浸水。	⑤ (8)

以上、2017 年 2 月段階で把握できている河内と新田に関わりそうな水害であり、全てではありません。
また、洪水や水害の規模や影響も確かではありません。戦後は水害の一部しか取り上げていません。

出典・掲載文献。()はその文献が元になっている文献。全てにわたって原資料まで遡ることはできていません。
① 平野屋会文書Ⅰ 大東市教育委員会 ② 鴻池新田と会所 東大阪市教育委員会 ③ 大和川付け替えと流域環境の変遷 西田一彦監修 古今書院 ④ 日下村庄屋森家日記 日下古文書研究会 ⑤ 大阪府全誌
⑥ 松原市史資料編 3 ⑦ 藤井寺市史資料編 6 ⑧ 中甚兵衛と大和川 中好幸 ⑨ 大和川川違えの社会経済史的意義 山口之夫 ⑩ 八尾市史 ⑪ 大和川付替(川違え)工事史 藤原秀憲 新和出版社
⑫ 大東市河合家文書Ⅰ 大東市教育委員会 ⑬ 河合家文書Ⅱ 大東市教育委員会 ⑭ 大阪朝日新聞 ⑮ 東京朝日新聞 ⑯ 理科年表「気象災害」 ⑰ 平野屋新田会文書Ⅱ ⑱ 門真市史資料編 ⑲ 大東市史 ⑳ 枚方市史 ㉑ 大阪府史 ㉒ 平野屋新田会文書目録 ㉓ 平野屋新田会文書Ⅲ ㉔ 法学協会雑誌 40 巻 10 号(小野武夫「深野新田永小作」) ㉕ 大正農民騒擾資料・年表第二巻・一巻 ㉖ 善根寺町のあゆみ 日下古文書研究会 ㉗ 新田村庄屋文書 大東市教育委員会 ㉘ 喜里川村中西家日記 日下古文書研究会

水害年表からみえてくること

一覧表から、付け替え後の洪水・水害の様子を見ると、それまでと同じ様に、淀川筋での洪水は定期的に起こり、新大和川筋ではそれまでほとんどなかった洪水がかなりの頻度で出現しています。その内、河内平野を水で覆いつくすような大水害も、一定の間隔で起こっていることがわかります。

これら水害の状況を見ると、大和川の付け替えに反対した村々の訴状にある、①新大和川は、地形と自然の理に反している、②延宝 2 年と 3 年の洪水は稀な大洪水だ、③大和川を付け替えても、水害はこれまでの大和川流域から新しい大和川流域に置き換えられ、稀に起こっている大洪水も「これまで通りに繰り返すものだ」との認識があながち反対するためだけの過大な表現だとはいえないことがわかります。もちろん付け替えを単純に疑問視するものではありません。また付け替え前と後で同じ条件になるのかはわかりませんので比べること自体意味はないかもしれません。

しかし、少なくともこの地域は、自然の理として水害が起きやすい「宿命」を負っていることだけは確かです。そして、その「宿命」の下で新田の創出とその後の 300 年に及ぶ治水・利水の取り組みが営々と続けられてきたことになります。

その過程で、一見利己的に思われる水を廻る村同士の出入りがたくさん起きています。しかし、それは、宿命に立ち向かう苛酷さと当時の社会の仕組み・限界から生じたもので、人びとの本来の姿でないことは想像できます。実際最後は、他村の庄屋等の仲裁を受け入れてお互いが成り立つように解決していく道を選んで事を納めています。(勿論仲裁を進めたり訴訟を裁いたりする役所の方針は、村の安定と税収確保が第一でありましたが)

また、大和川の付け替えと深野池・新開池の新田開発は、300 年前の民間の力による「一大公共事業」の一つとして時代の変化を生み出す元になったともわかります。

これらの歴史をみていくと、いうまでもない事ですが、私たちサポーターの課題の一つは、新田開発や会所の歴史を後代に伝えるだけでなく、①水や自然とどう向き合ったらいいのか。②事業や生活につきものの対立を、時代的制約の中でどのように受け止め解決していったのかなどを探り教訓化し、どのように活かせるのかを考えることが含まれているようです。そして、その教訓化作業の必要性をさらに次に伝えていく役目も担うことになりそうです。

現実に現在も、広大な遊水池や大阪平野の地下深く電車が通れそうな 3 本の排水トンネルがつくられています。莫大な費用と時間をかけた宿命に立ち向かう営みとしての水害対策と地下運河建設事業です。大和川の付け替え時と同じような現代の大悪水井路づくりです。その方法と費用・時間の負担の在り方はもちろん、私たちの自然への向き合い方そのものを、300 年前の河内の村々が真剣に対峙したように自分たちの問題として共に考えていくことが求められているといえそうです。



寝屋川北部地下河川 左：地下トンネル 右：事業概要図 (府都市整備部資料より)

おわりに

私たちの街、大東の歴史を振り返る時、新田開発については避けて通れるものではありません。

麦秋の頃ともなれば、天高くひばりがさえずり、野崎観音の鐘が、鈍い音色を響かせ、井路を行き交う田舟は長閑な風景を醸し出していたと、想像が出来ます。

このように、私たちの先人が連綿と築きあげて来た歴史は、大東そのものと言えるでしょう。私たちはその歴史遺産を見守りつつ、新しい大東の扉を開かなければなりません。

大東の歴史遺産―平野屋新田会所とその周辺で開発された新田の歴史を、私たちは知り、学び、知識を得、この後、どのような姿になって行くのが望ましいのか・・・私たち平野屋新田会所サポーターの、仲間が集まり、話し合いを続けて来ました。そして、このような大切な事をもっともっと多くの市民の方にも知って頂きたい・・・と、今年度も様々な活動を展開致してまいりました。

お蔭で、多くの方から多様なメッセージを頂きました。それを、私たちの励みとさせて頂くと共に、私たちの仲間となって、一緒に活動をされないかと、期待させて頂くものです。

この活動報告をご一読いただくとともに、ぜひ多くの方々のご参加をお願いするものです。

平成 29 年 3 月 吉日

平野屋新田会所市民サポーター 一同

平成28年度
平野屋新田会所市民サポーター名簿

NO.	名 前	住所	NO.	名 前	住所
1	飯塚 利幸	北条	11	中下志津子	泉町
2	今井 享	泉町	12	中西 昭治	諸福
3	大藪 庸子	灰塚	13	中村 崇明	三住町
4	河村 共之	北条	14	中村 義之	緑が丘
5	木原 哲也	明美の里	15	林田 恵子	明美の里
6	柴田 俊雄	明美の里	16	福本 勉	中垣内
7	地引 道子	御供田	17	藤井 俊悟	氷野
8	谷口 三香	柏原市	18	水永八十生	平野屋
9	高見 庸子	太子田	19		
10	豊芦 勝子	御供田	20		

平野屋新田会所 市民サポーター会議 活動報告書

平成 29 年 3 月 31 日発行

発行 平野屋新田会所市民サポーター会議
事務局 大東市教育委員会 生涯学習課
〒 574-0076 大東市曙町4番6号
☎ 072-870-9105